

令和8年6月12日
住宅局建築指導課

2050年とその先の建築のあり方を連続シンポジウムで議論！

～①ストック、②担い手・人材育成・DX、③市街地・まちづくりの3つの視点から～

建築分野を取り巻く環境が大きく変化する中で、社会資本整備審議会建築分科会等において、昨年4月から「建築分野の中長期的なあり方」について検討を行っています。この度、幅広い議論の喚起及び深化を目的として、①ストック、②担い手・人材育成・DX、③市街地・まちづくりの3つの視点から、連続シンポジウムを行い、2050年とその先を見据えた建築分野のあり方を大いに議論します。

■連続シンポジウム概要

テーマ：「予見されてきた《大転換》が本格化する時代」

(1) 第1回 ーストックの視点からー

日 時：令和8年7月27日（月）14時～16時40分（開場13時）

会 場：アキバホール

（東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F）

プログラム：

基調講演：「豊かさの総和の最大化を目指す」

松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学学長

パネルディスカッション：

パネリスト（五十音順）

安達 功 氏 日経 BP 総合研究所 フェロー（モデレーター）

五十田 博 氏 京都大学生存圏研究所 教授

神本 豊秋 氏 株式会社再生建築研究所 代表取締役

西村 周治 氏 合同会社廃屋 代表

松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学学長

水上 幸子 氏 株式会社リノベーション取締役



松村秀一氏

(2) 第2回 ー担い手・人材育成・DXの視点からー

日 時：令和8年8月3日（月）14時～16時40分（開場13時）

会 場：アキバホール

（東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F）

プログラム：

基調講演：「住宅・建築産業の近未来予測 ～市場・担い手・DX&AI のこれから～」

三浦 祐成 氏

株式会社新建新聞社 代表取締役社長



三浦祐成氏

パネルディスカッション：

パネリスト（五十音順）

池田 靖史 氏 東京大学大学院工学系研究科 特任教授

佐々木龍郎 氏 一般社団法人東京建築士会 会長

清家 剛 氏 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授（モデレーター）

長澤 夏子 氏 お茶の水女子大学 共創工学部 人間環境工学科 教授

三浦 祐成 氏 株式会社新建新聞社 代表取締役社長

（３）第３回 一市街地・まちづくりの視点から一

詳細が決まり次第、公表いたします。

（４）開催方法

現地・オンラインハイブリット開催（無料/要事前申し込み）

聴講申込：

聴講をご希望される方は、下記 URL 又は QR コードより申込をお願いいたします。

URL ： <https://www.j-reform.com/event/symposium2026/>

QR コード：



※申込は1名ずつとなります。複数人の聴講希望者がいる場合は人数分の申込が必要です。

※現地での聴講については席に限りがあるため、申込は先着順とします。

（参考）

下記 URL において、これまでの検討経過等について掲載しています。

○建築分野の中長期的なあり方に関する検討会及び懇談会

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_mn_000021.html

○社会資本整備審議会建築分科会

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s202_kenchiku01.html

<問合せ先>

住宅局建築指導課

TEL：03-5253-8111



「予見されてきた《大転換》が本格化する時代」

国土交通省では、2050年とその先を見据えた建築分野の方向性について検討を行っています。本連続シンポジウムでは、①ストック、②担い手・人材育成・DX、③市街地・まちづくりの3つの視点から、中長期的な方向性を議論します。

第1回 ーストックの視点からー

日 時:令和8年 7 月 27 日(月)14時~16時40分
会 場:アキバホール
(東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F)

プログラム(予定):

基調講演:「豊かさの総和の最大化を目指す」
松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学学長

パネルディスカッション:

パネリスト・モデレーター(五十音順):

安達 功 氏(日経BP 総合研究所 フェロー)、五十田 博 氏(京大大学生存圏研究所 教授)、神本 豊秋 氏(株式会社再生建築研究所 代表取締役)、西村 周治 氏(合同会社廃屋 代表)、松村 秀一 氏(神戸芸術工科大学 学長)、水上 幸子 氏(株式会社リノベリング 取締役)



第2回 ー担い手・人材育成・DXの視点からー

日 時:令和8年 8 月 3 日(月)14時~16時40分
会 場:アキバホール
(東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F)

プログラム(予定):

基調講演:「住宅・建築産業の近未来予測 ~市場・担い手・DX&AIのこれから~」
三浦 祐成 氏 株式会社新建新聞社 代表取締役社長

パネルディスカッション:

パネリスト・モデレーター(五十音順):

池田 靖史 氏(東京大学大学院工学系研究科 特任教授)、佐々木 龍郎 氏(一般社団法人東京建築士会 会長)、清家 剛 氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)、長澤 夏子 氏(お茶の水女子大学 共創工学部人間環境工学科 教授)、三浦 祐成 氏(株式会社新建新聞社 代表取締役社長)



第3回 ー市街地・まちづくりの視点からー

詳細が決まり次第、公表いたします。

開催方法

現地・オンラインハイブリッド開催(無料/要事前申し込み)

聴講を希望される方は、下記URL又は右記QRコードより、事前申込をお願いいたします。

URL:<https://www.j-reform.com/event/symposium2026/>



共 催:国土交通省・一般社団法人住宅リノベーション推進協議会

後援(予定):(一社)日本建築学会、(公社)日本都市計画学会、(一社)JBN・全国工務店協会、
全国建設労働組合総連合、(一社)住宅生産団体連合会、(一社)日本建設業連合会、
(公社)日本建築家協会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、
(一社)日本ビルディング協会連合会、(一社)不動産協会

第1回

「予見されてきた《大転換》が本格化する時代」 ～ストックの視点から～

2050年とその先を見据えた建築分野の中長期的な方向性について
ストックの視点から考えます

日 時:令和8年 **7月27日**(月)
14時～16時40分 (開場 13時)

会 場:アキバホール
(東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F)

プログラム(予定):

14:00 趣旨説明

14:10 基調講演:「豊かさの総和の最大化を目指す」
松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学 学長

15:00 パネルディスカッション:

パネリスト(五十音順)

安達 功 氏 日経BP 総合研究所 フェロー(モデレーター)

五十田 博 氏 京大生存圏研究所 教授

神本 豊秋 氏 株式会社再生建築研究所 代表取締役

西村 周治 氏 合同会社廃屋 代表

松村 秀一 氏 神戸芸術工科大学 学長

水上 幸子 氏 株式会社リノベリング 取締役

16:40 終了

入場無料
事前申込制
先着180名
(現地参加の場合)



安達 功 氏



五十田博 氏



神本豊秋 氏



西村周治 氏



水上幸子 氏

開催方法

現地・オンラインハイブリッド開催(無料/要事前申し込み)

聴講を希望される方は、下記URL又は右記QRコードより、事前申込をお願いいたします。

URL:<https://www.j-reform.com/event/symposium2026/>



共 催:国土交通省・一般社団法人住宅リフォーム推進協議会

後援(予定):(一社)日本建築学会、(公社)日本都市計画学会、(一社)JBN・全国工務店協会、
全国建設労働組合総連合、(一社)住宅生産団体連合会、(一社)日本建設業連合会、
(公社)日本建築家協会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、
(一社)日本ビルディング協会連合会、(一社)不動産協会

登壇者プロフィール(五十音順)



安達 功 氏：日経BP 総合研究所 フェロー

1986年東京理科大学工学部建築学科卒業。エンジニアリング会社日揮にて製薬会社等の研究施設の設計・施工・プロジェクトマネジメントに従事。S造、RC造、SRC造すべての実務を担当。日経BPでは土木雑誌「日経コンストラクション」の開発、建築雑誌「日経アーキテクチャ」編集を経て、住宅実務誌「日経ホームビルダー」の創刊を担当。同誌編集長、建設局長、インフラ総合研究所長、執行役員日経BP総合研究所長等を経て2021年4月から現職。国土交通省建築分野の中長期的なあり方に関する懇談会・検討会委員。



五十田 博 氏：京大大学生存圏研究所生活圏木質構造科学分野 教授

1965年新潟県生まれ。1990年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、信州大学工学部助手、建設省建築研究所(現国立研究開発法人建築研究所)主任研究員、信州大学工学部准教授、同教授を経て、2013年より京大大学生存圏研究所教授、現在に至る。日本建築学会副会長など。博士(工学)。専門は、木造住宅の耐震安全性に関する研究、中層大規模木造建築の開発と性能評価、CLT等の新素材や新たな構造システムの開発と構造性能評価など。国土交通省、林野庁、文部科学省などで各種委員会委員多数。日本建築学会賞(論文、2011年)など受賞多数。



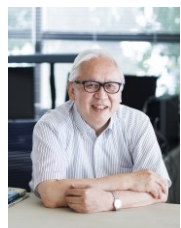
神本 豊秋 氏：株式会社再生建築研究所 代表取締役

「再生建築を文化に」をミッションに再生建築の研究を行う。2012年創業。同年より京大大学生産技術研究特任研究員(川添研究室)として、約100年ぶりの東京大学総合図書館の再生に従事。2015年に株式会社再生建築研究所を設立。同社で企画・再生したミナガワビレッジ(東京都・渋谷区)に入居し、運営も行う。文部科学省 CO-SHAアドバイザー、国土交通省モデル調査事業外部委員「中小ビルのバリューアップ改修投資の促進に向けたモデル調査事業」、文化庁 建築文化フェローに就任。



西村 周治 氏：合同会社 廃屋 代表

1982年京都府生まれ、神戸芸術工科大学卒。
だれも見向きもしないようなボロボロの廃屋を買い、古材をつかって改修している。
活動のルーツは大学を卒業後、DIYして住んでいた激安賃貸の住まいを地上げ屋に追い出された経験から、自分でボロボロの物件を所有して作り直して活用するというスタイルに辿り着く。最近では複数棟まとめて買い「村」にまで発展し、各所に村ができつつある。



松村秀一 氏：神戸芸術工科大学 学長

1957年神戸市生まれ。1980年東京大学建築学科卒業。1985年東京大学大学院博士課程修了。工学博士。1986年より東京大学講師、助教授、教授、特任教授を経て2023年より早稲田大学理工学術院総合研究所上級研究員・研究院教授。2024年4月から現職。専門は建築構法・建築生産。日本建築学会賞(論文、2005年)、都市住宅学会賞(著作、2008年、15年、16年)、日本建築学会著作賞(2015年)、国土交通大臣功労者表彰(2025年)、日本不動産学会著作賞(2025年)等受賞多数。主な著書に「これからの建築入門ーく自分でつくる」を取り戻せ(岩波書店)、「新・建築職人論ーオープンなものづくりコミュニティ」(学芸出版社)、「建築の明日へ」(平凡社新書)、「ひらかれる建築ー『民主化』の作法」(ちくま新書)など。



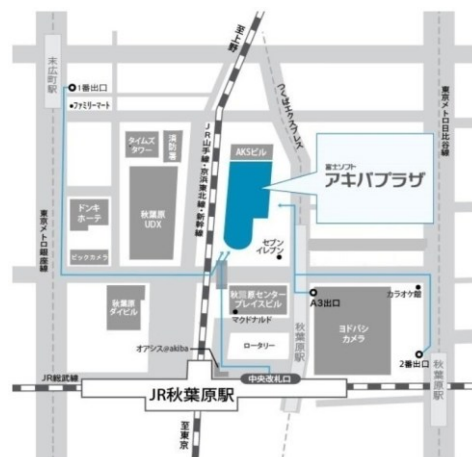
水上幸子 氏：株式会社リノベリング 取締役／株式会社kvalito 取締役

大阪府茨木市生まれ。ハウスメーカー設計職にて5年間勤務後、現職。現在は全国でリノベーションまちづくりを企画プロデュースし、地域の力を生かした連鎖型の都市開発のかたちを探りながら実践している。地元茨木では2児を抱えながら夫婦でkvalito一級建築士事務所を営み、夜と余を遊ぶナイトマーケット「ヨアソビ・ヨ市」の企画運営等にも関わるなど地域価値向上に寄与する活動も行っている。

<会場アクセス>

〒101-0022
東京都千代田区神田練堀町3
富士ソフトアキバプラザ 5F
TEL:050-3000-2741
FAX:03-5209-5261

- ・JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- ・つくばエクスプレス線秋葉原駅 A3出口より徒歩1分
- ・東京メトロ日比谷線秋葉原駅 2番出口より徒歩3分



第2回

「予見されてきた《大転換》が本格化する時代」 ～担い手・人材育成・DXの視点から～

2050年とその先を見据えた建築分野の中長期的な方向性について
担い手・人材育成・DXの視点から考えます

日 時:令和8年 8 月 3 日(月)

14時～16時40分 (開場 13時)

会 場:アキバホール

(東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F)

プログラム(予定):

14:00 趣旨説明

14:10 基調講演:「住宅・建築産業の近未来予測
～市場・担い手・DX&AIのこれから～」

三浦 祐成 氏

株式会社新建新聞社 代表取締役社長

15:00 パネルディスカッション:

パネリスト(五十音順)

池田 靖史 氏 東京大学大学院工学系研究科 特任教授

佐々木龍郎 氏 一般社団法人東京建築士会 会長

清家 剛 氏 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授(モデレーター)

長澤 夏子 氏 お茶の水女子大学 共創工学部人間環境工学科 教授

三浦 祐成 氏 株式会社新建新聞社 代表取締役社長

16:40 終了



池田 靖史 氏



佐々木 龍郎 氏



清家 剛 氏



長澤 夏子 氏

開催方法

現地・オンラインハイブリッド開催(無料／要事前申し込み)

聴講を希望される方は、下記URL又は右記QRコードより、事前申込をお願いいたします。

URL:<https://www.j-reform.com/event/symposium2026/>



共 催:国土交通省・一般社団法人住宅リフォーム推進協議会

後援(予定):(一社)日本建築学会、(公社)日本都市計画学会、(一社)JBN・全国工務店協会、
全国建設労働組合総連合、(一社)住宅生産団体連合会、(一社)日本建設業連合会、
(公社)日本建築家協会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、
(一社)日本ビルディング協会連合会、(一社)不動産協会

登壇者プロフィール(五十音順)



池田 靖史 氏：建築家、東京大学工学系研究科建築学専攻 特任教授

東京藝術大学 非常勤講師、博士(工学)、建築情報学会 会長
1961年生まれ、東京大学工学部建築学科卒業、大学院修了。(株)楨総合計画事務所を経て、1995年(株)池田靖史建築計画事務所(現IKDS)を設立。建築設計活動とともに、建築や都市のコンピューテーション・デザイン、建築生産技術へのデジタル技術の応用、リアルとヴァーチャルを融合した人工環境の拡張などを研究分野とし、情報科学から建築分野を捉えた建築情報学を国際的に提唱している。建築設計作品として酒田市公益研修センター多目的ホール(2007年)、中国遼寧省観山閣温泉(2012年)台湾桃園空港新線台北中央駅(2015年)日刊木材新聞本社屋(2020年)がある。



佐々木龍郎 氏：一般社団法人東京建築士会会長/株式会社 佐々木設計事務所 代表取締役

生業は建築の設計監理。そこで得た知見を活かして「地域支援」「調査研究」「教育」にも取り組む。1964年東京都生まれ、1992年東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程単位取得退学。現在、株式会社佐々木設計事務所代表取締役、株式会社エネルギーまちづくり社取締役、一般社団法人東京建築士会会長、一般社団法人横濱まちづくり倶楽部理事、千代田区景観アドバイザー、新宿区景観相談員、京都芸術大学教授、神奈川大学・東京電機大学・東京都市大学・東洋大学・早稲田芸術学校非常勤講師。



清家 剛 氏：東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

1964年徳島県生まれ。1987年東京大学工学部建築学科卒業、同助手を経て1999年より東京大学大学院新領域創成科学研究科・助教授、2019年より現職。もともと外周壁の総合的な性能確保に関する研究を中心とする課題の一つとし、天井や外壁など非構造部材の耐震も対象。現在は建築生産と環境影響をテーマの中心とし、改修・解体技術やリサイクル技術、建築物のLCA評価や様々な環境影響について研究。近年は建築生産における様々な施工現場のあり方についても研究。国土交通省の各種会議や中央建築士審査会の委員を務め、現在LCAの制度化に向けた委員会にも参加。主な著書に「サステナブルハウジング」(監修・共著、2003、東洋経済新報社)、「住環境再考ースマートから健康まで」(共著、2016、萌文社)など



長澤 夏子 氏：お茶の水女子大学 共創工学部人間環境工学科 教授

専門は建築人間工学と環境生理心理。早稲田大学大学院修了、博士(工学)。早稲田大学建築学科助手・同大学理工学総合研究所の次席研究員などを経て、2015年より現職。日本建築学会(AIJ)では、建築教育委員会として現在、委員長および、同委員会に設置された「次世代の建築教育WG」の主査を務める。社会の動向と建築教育について、建築教育の現状・建築分野の卒業生の進路やキャリア・資格制度などの観点から調査研究を長く行ってきた。



三浦祐成 氏：株式会社 新建新聞社 代表取締役社長／新建ハウジング発行人

株式会社新建新聞社代表取締役。住宅専門紙「新建ハウジング」発行人。新建新聞社は長野市に本社を置き、住宅・建設・危機管理分野の専門メディアを全国展開している。ポリシーは「変えよう！ニッポンの家づくり」。執筆や講演を通して住宅・建設業界の変革を訴え続けている。「住宅産業大予測」など著書多数

<会場アクセス>

〒101-0022
東京都千代田区神田練堀町3
富士ソフトアキバプラザ 5F
TEL:050-3000-2741
FAX:03-5209-5261

- ・JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- ・つくばエクスプレス線秋葉原駅 A3出口より徒歩1分
- ・東京メトロ日比谷線秋葉原駅 2番出口より徒歩3分

